

## 日本看護研究学会の2つの学術集会を活かす

～本部会と地方会の役割と連携～

学術集会長：中木高夫(天理医療大学)



日本看護研究学会近畿・北陸地方会第27回学術集会[平成26年3月1日(土)、於：天理医療大学]、日本看護研究学会第40回学術集会[平成26年8月23日(土)24日(日)、於：奈良県

文化会館新公会堂]と、2つの学術集会の集会長を務めさせていただきます。

ここでは地方会の学術集会と親学会の学術集会の違いと連携について考えてみたいと思います。

親学会の学術集会は「一般社団法人日本看護研究学会」が運営するひとつの事業です。もちろん、地方会も「一般社団法人日本看護研究学会」が運営するひとつの事業ですが、地方会の学術集会は親学会に地方会が運営を委託されていると考えればよいでしょう。そこにある違いは、学問における価値というよりも、世間への認知範囲の違いと考えればよいでしょう。

親学会の学術集会での発表は全国規模です。毎年、日本看護研究学会雑誌の第3号は学術集合集録号です。それに対して、地方会はその地方会に参加した人の範囲内です。抄録も学術集会のプログラムに集録されているだけです。ですから、地方会学術集会に発表された研究は世間的には未発表研究です。その学術集会での意見や批判を取り込んで、親学会の学術集会で発表することは、誉められることはあっても、倫理的になら問題はありません。

実は、親学会の学術集会の発表であっても、学問的にはまだ十分に評価されません。論文として投稿し、査読を受けて学会誌に掲載されてはじめて業績として認められるのです。

もちろん、地方会の学術集会での発表であっても、学問的に価値の高い内容のものがあるでしょう。

しかし、いかに学問的に価値が高くても、学会誌に掲載されなければ、広く看護学の研究仲間に認めてもらうことは不可能です。

一般社団法人日本看護研究学会は、地方会の学術集会から親学会の学術集会、そして学会誌と、研究内容をステップアップさせていく事業を展開しています。若手研究者のみなさんは、この仕組みを利用して、ぜひ素晴らしい内容の研究を、最終的には学会誌に発表してください。



**近畿北陸地方会第27回学術集会一般演題受付中**

応募期間：平成25年12月9日(月)まで お待ちしております。

## 日本看護研究学会第26回近畿・北陸地方会学術集会を終えて

学術集会長：山田和子(和歌山県立医科大学)

日本看護研究学会第26回近畿・北陸地方会学術集会は、平成25年3月2日(土)の初春、和歌山県立医科大学保健看護学部で開催しました。多くの方々のご協力のもと、和歌山県で初めて開催し、無事終えることができましたことを、心よりお礼を申し上げます。

学術集会は、「臨床と教育の協働～実践で活用できるエビデンスを求めて～」のメインテーマのもと、特別講演は「臨床と教育との協働」をテーマに本会の世話人代表である上野栄一先生(福井大学)に、シンポジウムは「実践で活用できるエビデンスを求めて～実践・研究・教育の立場から～」をテーマに実践現場で活躍されているがん看護専門看護師、退院調整看護師、研究・教育分野で活躍されている大学教員の方々から話題を提供していただきました。一般演題は43題集まり、成人、がん、精神、老年、小児、母性、在宅、地域、看護教育、看護技術、看護管理と幅広い領域からの発表がありました。

参加者は150人で、「メインテーマが良かった」「初めて参加したが、充実していた」「特別講演はわかりやすかった」などの感想が聞け、ほっとしているところです。今後も和歌山県で開催できるようにしていきたいと思います。



シンポジウム風景



発表風景

一般社団法人日本看護研究学会 近畿・北陸地方会事務局

〒910-1193  
福井県吉田郡永平寺町松岡下合月 23-3  
福井大学  
TEL：0776-61-3111(内線2635)  
FAX：0776-61-8165  
e-mail: kyoshi@u-fukui.ac.jp

北野 華奈恵【庶務担当】

〒910-3190  
福井市江上町55字鳥町13-1  
福井医療短期大学  
TEL：0776-59-2204  
FAX：0776-59-2205  
e-mail: hitomi.fcm-ns@kkh.biglobe.ne.jp

藤本 ひとみ【会計担当】

会員の皆様方と地方会の活動情報を共有できる紙面づくりを目指していきたく思います。皆様のご意見ならびにご投稿をお待ちしております。

ニュースレター担当：西菌貞子、坪田恵子

## 『地方会活性化に関するアンケート調査』結果

『地方会活性化に関するアンケート調査』(平成25年4月～6月に実施)に、ご協力いただきましてありがとうございました。結果の詳細につきましては、日本看護研究学会近畿・北陸地方会ホームページに掲載されていますのでご覧ください。

(ホームページ <http://www.jsnr.jp/district/kinki-hokuriku/meeting/> ⇒ [お知らせをクリック](#))

アンケート結果を受けて、看護研究継続セミナーとリレーブログの各関係・担当者に執筆をお願いしました。

## 近畿・北陸地方会看護研究継続セミナーについて

世話人代表: 上野栄一

近畿・北陸地方会活性化に関するアンケート調査では、セミナーに参加された事のある7名の方々から、「まあまあ意義があった」、「意義があった」の回答が寄せられていました。今後も魅力ある継続セミナーを開催していきたいと考えております。

さて、第17回看護研究継続セミナーが平成25年10月5日(土)、福井大学医学部附属病院臨床教育研修センター白翁会で開催されました。セミナープログラムは第1部が「漢方と看護の接点」柴原直利先生(富山大学和漢医薬学総合研究所漢方診断学分野教授)、第2部が「災害看護の多様性と質的研究の有効性」酒井明子先生(福井大学医学部看護学科臨床看護学講座教授)、第3部がグループワークとして進められました。参加者は、31名でした。

初めて株式会社ツムラとの共催として開催しました。桑原直利先生の講演では、漢方と看護の接点について、わかりやすく説明していただきました。酒井明子先生の講演では、災害看護における看護研究について、研究デザインの多様性について実際の福島県での活動もご紹介されながらのご発表でした。両先生のご発表は、参加者に多くの感銘と示唆を与えるご発表でした。グループワークでは、災害看護、臨床、基礎領域、感染の4つのグループに分かれて進められました。講演者の酒井先生にも入っていただき、活発な意見交換がなされました。本継続セミナーは、看護研究を本格的にされたい方、院内看護研究をされている方、これから始めようとしている方に対して、実際の研究のプロセスを体験しながら研究方法を習得し、発表につながる活動をしております。アットホームな雰囲気の中ファシリテーターの先生方がグループに入って様々な研究の相談にのっていただけるのが特徴です。若村委員長からは、本グループワークの趣旨について説明され、各グループには講演者にも入っていただき、とても活発な意見交換が行われました。

次の第18回継続セミナーは、平成25年12月14日(土)京都で開催されます。皆様のご参加をお待ちしております。今後も地方会の活動にご協力のほどよろしく申し上げます。



楽しくグループワーク

### 第18回看護研究継続セミナー; 申込受付中(12月5日まで)

日時: 2013年12月14日(土)13時30分～17時

開催場所: 京都大学大学院人間健康科学系専攻第八講義室

詳細はホームページをご参照下さい。

## リレーブログについて

ホームページ編集担当: 明神 一浩

正式に運用を始め1年と6ヶ月あまり経過をしております。このリレーブログを開設した経緯は臨床の看護師から「研究のノウハウを学びたいが、どのようにしたら、研究を学べるのか」や「大学に入学をしたいが、研究テーマを見つけたいがどのようにしたら良いかわからない」などの質問を受け、そのような疑問を臨床現場の看護師や大学の教員などが所属している看護研究学会の地方会の一つの取り組みとして、看護研究に関する悩みを解決出来る糸口として運用を開始いたしました。これまで、テーマは研究の倫理的配慮について、様々な研究者から意見をもらいディスカッションしてまいりました。

**このブログの活用対象者は看護研究学会の学会員であり、且つ、近畿・北陸地方に所属している学会員の限定です。**

大学側では、看護学科でおこなわれる研修会の案内や、講座での研究テーマを発信することで、大学院を目指す社会人が入学を考える一つの手立てとなるのではないかと考えております。また、臨床の看護師からは、様々な研究テーマの相談事など、ブログを通じて有識者からの回答が期待できます。地方会という限定ユニットだから深まる話題、様々なテーマで議論ができるようにスレッドごとにテーマごとに発信ができるようになっております。

また、4月に行われたリレーブログについてのアンケート結果から、研究の紹介など研究テーマについての紹介を希望していることが分かりました。主に臨床の看護師より、どのような研究方法があるのか知りたいという要望も聞かれていますので、日本看護研究学会の世話人会役員の協力を得て、様々な研究テーマで看護研究の紹介をして行きたいと考えております。

ログイン方法は同封の  
説明書をご覧ください

ホームページ  
を開く

学会指定のメールアドレス・  
レス・パスワードを入力

ログイン

意見交換

## ニュースレターについて

ニュースレター編集担当: 西園貞子・坪田恵子

平成24年度よりニュースレターの編集担当をお引き受けし、「**会員と地方会諸活動のアクセシビリティの向上を目指す**」ことを目標として取り組んでおります。学術集会や看護研究継続セミナーのご案内およびご報告、地方会会員限定のリレーブログの開設経緯の紹介と活用の案内などをニュースレターに盛り込んできました。今回のアンケート調査結果では、掲載してほしい内容として、「看護研究」が最も多くを占めていました。より多くの会員の方々が、**看護研究に触れ学ぶ機会がもてるように**、今年度のニュースレターは**発行時期を検討**いたしました。第27回近畿北陸地方会学術集会の一般演題受付の締め切りより少し前になるように、また、第18回近畿・北陸看護研究継続セミナーの案内も再度行えるように、例年より早い発行時期を設定しました。多くの会員の皆様にご参加いただくと嬉しく思います。

また今後は、研究内容に関する情報も発信していきたいと思っています。会員の皆様のご意見を反映させたニュースレターの作成を目指していきたいと思っておりますので、積極的なご意見をお寄せ頂きますようお願いいたします。